

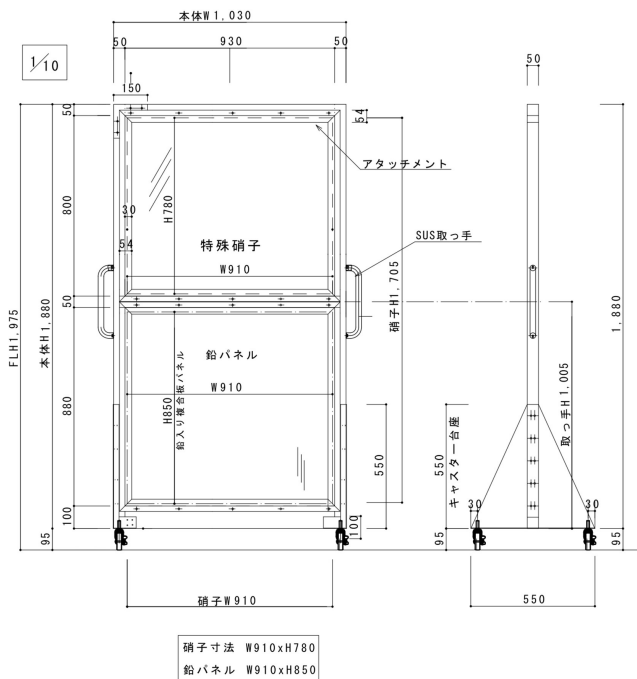
機械器具（11）放射線障害防護用器具
一般医療機器 放射線防護用移動式バリア 38373000（JMDNコード）

防護衝立 Rad Barrier-X

【形状・構造及び原理等】

- 鉛ガラスと鉛板を貼り付けたパネルを、フレームに組み込んだもので構成され、鉛ガラスは衝立の全面に使用されるタイプのほか、用途に応じて鉛ガラスの使用面積や衝立サイズを調整することが可能である。
- 破損時の安全対策として、鉛ガラスの両面にカバーガラスを貼り合わせている。
- 容易に移動できるように、フレームにキャスターが取り付けられた構造である。
- 鉛ガラスと鉛板で X 線を遮へいする。また、鉛ガラス部分から衝立の反対側を目視確認できる。

〈外観寸法（代表例）〉



【使用上の注意】

- 水のかからない場所に設置すること。
- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等、安定状態に注意すること。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には設置しないこと。
- キャスターによる移動が円滑であること。
- 平らな床面に置く時、常に安定していること。
- 不具合が発生した場合は、適切な表示を行い専門家に依頼すること。
- 廃棄する場合は、必ず地方自治体の条例・規則に従い廃棄すること。[鉛を含んでいるため]

【保管方法及び有効期間等】

使用後の機器は必ず清潔にして、高温、多湿に注意し保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- 使用者は始業、終業時に目視、触覚等により破損などないかどうか点検を必ず行うこと。
- 汚れが付着した場合は、水やガラスクリーナー（研磨剤が入っていないもの）等で柔らかい布等で軽く良く拭きとった後、軽く良く乾拭きすること。

【使用目的又は効果】

X 線を用いる診断や治療において、医療従事者を X 線による被曝から保護する。

【使用方法等】

X 線発生源に対して医療従事者等を放射線より遮へいする位置に配置する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 昭和光学株式会社

住所 大阪府東大阪市俊徳町2丁目5-20

電話番号 06-6729-5881

製造元 昭和光学株式会社